

## JAグループが、TPP反対デモ行進を実施



政府が交渉に参加している、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）に反対する県民集会在7月31日、秋田市の文化会館で開かれました。

集会は、県内のJAなど22団体で構成する、「食料・農業・環境を守る秋田県民会議」が主催し、各団体から約1,200人が参加。

はじめに同会議会長でJA秋田中央会の木村一男会長が、「自民党政権公約の6項目を必ず順守し、わが国の利益を守つてもらおう。もしそれが出来ない場合は、即刻協議から脱退することを、強く要請していく。」と挨拶。また出席した金田勝年衆院議員も、「公約で誓ったものを、変えてはいけません。守り抜いていくことが義務。」と話し、県選出の議員と協力して、反対運動に協力することを誓いました。

## 政府・与党の独断専行に対し、 反対の声を高らかに上げる

- ① 政府が、「聖域なき関税撤廃」を前提にする限り、交渉参加に反対する。
- ② 自由貿易の理念に反する自動車等の工業製品の数値目標は受け入れない。
- ③ 国民皆保険制度を守る。
- ④ 食の安全安心の基準を守る。
- ⑤ 国の主権を損なうようなISD条項は合意しない。
- ⑥ 政府調達・金融サービス等は、わが国の特性を踏まえる。

▲自民党が掲げた6つの公約

集会終了後に参加者は、「地域経済を崩壊させるな!」「TPPは絶対反対!」とシユプレヒコールを上げながら、秋田市中心部をデモ行進しました。今後もJAグループでは、反対運動を継続していきます。